

桜の庄兵衛

information vol.72

「左手のピアニスト」をハンディーとするのではなく、「左手のみの演奏の素晴らしさ」をずっと自然に伝えたい」と言われる。

左手のピアノ曲は戦争などで片手に障害を持ったピアニスト達がそれでも音楽を心の支えに生きていこうとして作曲された。

その楽曲の美しさには切なさも喜びもあるという。

智内さんは世界中に散逸し忘れられた左手のためのピアノ曲の楽譜を収集し左手の曲の豊かな世界を広めようとしている。

庄兵衛では5年ぶりの智内さんのコンサート。

椿の花も咲さくなか。どうぞお誘い合わせてお出かけください。

2月16日(日)

昼の部 13:00開演(12:30開場)
夕の部 16:30開演(16:00開場)

出演

左手のピアニスト
智内 威雄

プログラム

川上統「みちびき地藏」
近藤浩平「海辺の雪」
ボルトキエヴィッチ「ウェディングソング」
他



もうすぐ春です
コンサート

智内 威雄(ちないたけお)

画家の父と声楽家の母のもとに生まれ、3歳からピアノを始め、7歳より小林出氏に師事16歳より前島園子氏に師事。東京音楽大学ピアノ演奏家コースにて研鑽をつむ。大学卒業後はドイツ国立ハノーヴァー音楽大学に留学。その間、グリーク国際コンクールで特別賞、マルサラ国際音楽コンクールで3位入賞など数々のコンクールに受賞。同大学在学中の2001年にジストニアを発症し休学しリハビリを開始する。2003年よりドイツにて左手のピアニストとして活動を再開する。2006年に広島交響楽団とラヴェルの「左手のための協奏曲」を共演し絶賛され同年日本デビューする。2010年左手のためのピアノ音楽の発掘と普及を目的とした任意団体「左手のアーカイブ」プロジェクトを発足させる。2013年 NHK放送制作のドキュメンタリー番組、ETV特集「左手のピアニスト～もうひとつのピアノ・レッスン～」が放送される。
智内威雄HP <http://tchinai.com/>
左手のアーカイブHP <http://www.lefthandpianomusic.jp/>

小・中学生の頃、一番嫌いだったものが読書感想文!そのためか、小・中学校時代は読書がどうも苦手でした。

高校生になって、読書感想文から解放され、ようやく「読書」なるものに勤しむようになった記憶があります。

今回、昨年12月21日の桜の庄兵衛でのジャズコンサートの感想文を書いて欲しいと頼まれて、何を書いているものやら大いに悩みました。というのも、私の中では音楽は頭で聴くものではなく、体に自然に浸み込んでくるようなもので、聴いた後には心地よい気持ちが胸に残るのみで、頭は空っぽになっています(頭を空っぽにするために音楽を聴くのかもしれません)。

その前に、まず、この文章を書いている神原っていったい誰やねん?と怪訝に思われる方もおられると思うので、簡単に私と桜の庄兵衛の関係を紹介させていただきます。私が初めて桜の庄兵衛を訪れたのは昨年6月のことです。たまたま他のライブ会場で知り合いになった方に、豊中の岡町に江戸時代の庄屋を改装して音楽ライブをしている素晴らしい場所があると聞き、音楽そのものよりも、むしろその「空間」に深く興味を持ち訪れました。約30年間、ジャズに限らずクラシックなどのライブに足繁く通っていますが、この桜の庄兵衛ほど心地よく音楽が楽しめる「空間」は存在しないのではないのでしょうか。

私事で恐縮ですが、20代の頃、あるジャズミュージシャンと会社と一緒に設立し、ジャズコンサートの手伝いを20年以上に渡りしてきました。そのジャズミュージシャンが2年程前に亡くなり、その後を継ぐというわけではないのですが、私自身も最近ジャズのコンサートなどを企画しています(本業ではなく、あくまで趣味のレベルですが)。今回のコンサートも、東京在住のミュージシャンから、関西での演奏会



場を探しているという話を聞き、真っ先に桜の庄兵衛を紹介し実現したものです。

さてさて、本題のジャズコンサートの感想文を書かなくてははいけません。今回のジャズコンサートは、ピアノ西山隆、ヴァイオリン牧山純子、ベース安川大樹のトリオによる演奏でした。通常、ピアノの音に負けてしまうのでベースにはアンプを使って音を増幅したりするのですが、今回はアンプの使用は一切なし。それでもベースの音の響くこと響くこと。もちろん演奏者の力量に負うよるところも大きいでしょうが、この桜の庄兵衛という「空間」の面目躍如といったところでしょうか。ヴァイオリンのクラシックの名曲も交え、昼の部、夕の部の時間はあっという間に過ぎてしまいました(今回はヴァイオリンをされている子どもさんの姿も多くみられました)。とにかく、ピアノもヴァイオリンもベースも素晴らしく、心地よいひとときを過ごすことができました(ということしか感想は頭の中に残っていません・・・)。

最後に、このチラシを初めて手にされ、桜の庄兵衛とはどんなところかご存じない方に、桜の庄兵衛をご紹介します。「桜の庄兵衛は、江戸時代の庄屋を修復再生したもので、本来客間であったものを襖や障子をはずせば五十畳余りの一空間として活用できるように仕上がったもの。名称は、古文書にも見られる名前であり、この家を守ってきた代々の先祖・桜塚の庄兵衛にちなんで名付けられた。」

桜の庄兵衛という江戸時代から連綿と続く「空間」と、音楽という「時間」芸術とが見事に融合し、心地よい「気持ち」が創造される瞬間を是非皆様も体験してください。

最後に、この素晴らしい桜の庄兵衛を維持されている奥野様及びスタッフの皆様に敬意を表して、私の拙い文章を締めくくります。

● もうすぐ春ですコンサート お申込み要領

お問い合わせは 06-6852-3270(奥野)まで

参加費

¥2,500
※当日、会場受付にてお支払いください。

定員

90名・全席自由席
※全席椅子席となりました。

会場

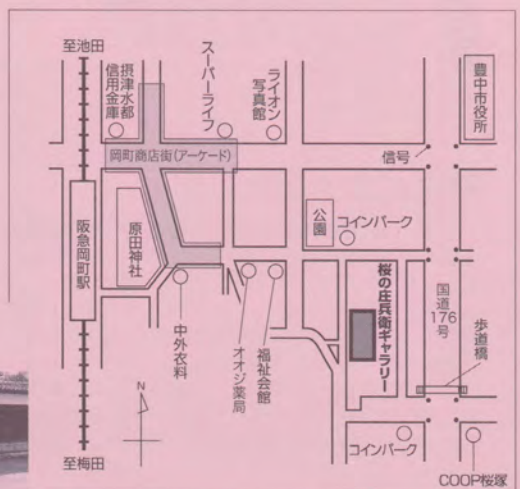
桜の庄兵衛ギャラリー
阪急宝塚線「岡町駅」下車・徒歩約8分

ハガキでのお申込み

※下記内容をご記入のうえ「桜の庄兵衛ギャラリー」までお送りください。

- ご氏名(ふりがな)
- ご住所(郵便番号)
- お電話番号
- ご希望の時間帯 昼の部または夕の部
- ご参加人数(計〇名)
- グループ全員の氏名(ふりがな)

宛先
〒561-0881 豊中市中桜塚2-30-35
桜の庄兵衛ギャラリー



Eメールでのお申込み

※ハガキでのお申込と同じ内容を送信ください。
e-mail syoubei@tcct.zaq.ne.jp

TEL・FAXでのお申込み

TEL・FAX 06-6852-3270

※FAXでお申込の方は別紙にご記入のうえ送信ください。